

## 平成 21 年度研究チーム活動中間報告（第 2 回目）

### 「アジア地域における“持続可能な未来”のための環境教育学」

No.113 研究幹事 谷口 文章（文学部）

2010 年度は、次のとおり研究会および合同研究会を開催しました。まず、「アジア地域」に関しては、タイ・プラナコン大学のチナタ・ナガシンハ氏（環境教育センター所長）をお招きし環境教育の基本としての衣食住について「Environmental Education regarding Materials and Programme of Food」の講演をお願いしました。また、日本環境教育学会第 21 回全国大会における学会プロジェクトとの共催により、谷口文章（甲南大学）『「持続可能な未来」のためのアジアエリア・ネットワークの構築～衣食住に根ざした環境教育（服育）の提案～』、チナタ・ナガシンハ氏（タイ・プラナコン大学）「タイにおける衣食住に根ざした環境教育の紹介」、清水芳久氏（京都大学）「アフリカ・マラウイ国 資源循環型衛生プロジェクト～穀物と水をめぐって～」を行ないました。

そして「持続可能」な未来の実現のためには、環境倫理学にもとづいた環境教育のローカルな実践研究も必要であるため、環境教育としての「服育」について、「衣」（服育）、「食」（食育）、「住」（住育）という生活基盤に基づく調査をしました。とくに学校教育における実践事例を中心に環境教育学の確立について議論しました。環境教育を貫く共通課題は、ライフスタイルの変更のための実践であり、さらに常識的なことと思われる衣食住のエコロジーの原点を探ることです。こうした実践的な取り組みから多くを体験し、交わされた討論の研究結果が、本年 1 月の第 5 回甲南平生国際フォーラム「生物と文化の多様性～アジアからの発信～」という形で結実しました。

2010 年 3 月 4 日 総研（第 6 回服育研究会）甲南大学（参加者：谷口、渡辺、有吉、谷、曾我部、熊谷、天野）

2010 年 5 月 20 日 総研（第 7 回服育研究会）甲南大学（参加者：谷口、渡辺、前田、赤尾、松田、熊谷、天野）“Environmental Education regarding Materials and Programme of Food” チナタ・ナガシンハ（タイ・プラナコン大学）

2010 年 5 月 23 日 第 21 回日本環境教育学会全国大会（琉球大学）、学会プロジェクト（第 3 回）学会プロジェクト研究「アジア・エリアにおける『持続可能な未来』のための環境教育とネットワークの構築」谷口文章（甲南大学）『「持続可能な未来」のためのアジアエリアネットワークの構築～衣食住に根ざした環境教育（服育）の提案～』、チナタ・ナガシンハ氏（タイ・プラナコン大学）「タイにおける衣食住に根ざした環境教育の紹介」、清水芳久氏（京都大学）「アフリカ・マラウイ国 資源循環型衛生プロジェクト～穀物と水をめぐって～」

2010 年 7 月 22 日 総研（第 8 回服育研究会）甲南大学（参加者：谷口、渡辺、有吉、谷、曾我部、熊谷、天野）

2010 年 8 月 24 日 総研（第 9 回服育研究会）(株)チクマ 内容：学校教育における服育の実践事例



第 5 回甲南平生フォーラム「生物と文化の多様性」

話題提供：岡本真澄氏（大阪府教育センター）、西垣亮子氏（宝塚市立宝梅中学校）他

2010年10月5日 総研（第10回服育研究会）㈱チクマ 内容：学校教育における服育の実践事例 話題提供：岡本真澄氏（大阪府教育センター）

2010年11月11日 総研（第11回服育研究会）㈱チクマ 内容：学校教育における服育の実践事例 話題提供：本庄眞氏（明日香小学校）

2011年1月8日 甲南学園創立90周年記念フォーラム、第5回甲南平生国際フォーラム「生物と文化の多様性～アジアからの発信～」 会場：甲南大学

2011年1月25日 総研（第12回服育研究会）会場：甲南大学（予定）